

建 第 1020001 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

豊後高田市長 永 松 博 文



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 3 7 号にて依頼のありました、標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大分県豊後高田市

道路は最も基本的かつ優先的に整備されるべき社会資本のひとつであり、活力ある経済に支えられたゆとり社会を実現するためには、その整備を緊急かつ計画的に推進する必要があります。

特に、都市部に比較して立ち遅れている地方部の道路の整備の状況は、質・量ともに不十分であり、地方自治体は、住民のために備えなければならない最低限の生活環境基準として、今後とも重点的に道路の整備をする必要がありますが、骨太の方針 2008（平成 20 年 6 月 27 日閣議決定）による道路財源の改革にあたり、地方道路の整備が確実に実現されるものであるか、強い危惧をいただいております。

今後の道路特定財源の一般財源化においては、本来、道路特定財源は道路の整備とその安定的な財源の確保のために創設され、その暫定税率は立ち遅れた道路整備推進のため本則税率を引き上げたものであることから、税率の取扱いとその配分については、特に地方の納税者の意見を十分反映し、地方にとって真に必要な道路が着実に整備されるとともに、地方の実態を踏まえた地方財源の充実・強化が図られ、各地方公共団体の道路整備の需要に応じて反映されるような仕組みとするよう要望します。

また、道路の中期的な計画において新たな道路整備計画の策定、実施等に当たっては、その意思決定に地方の意見が十分反映できる分権型の仕組みを取り入れることを要望します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

大分県豊後高田市

○現状

本市には地理的条件により高速自動車国道がなく、県北主要都市との産業・交流の中核となる高規格道路についても未整備で、高速交通体系から大きく取り残されております。

当地域において道路は、産業振興促進からの高速交通体系の構築はもとより、地域の活性化とシビルミニマムの達成から優先的に整備しなければならない最も重要な社会資本となっております。

また、公共土木施設のうち、とりわけ市道の維持管理が厳しい財政状況を更に圧迫しております。

本市の市道は、平成 17 年の 1 市 2 町の合併から 768 路線・総延長約 554k mとなりましたが、その他にも農道・林道があり、この維持管理と長寿命化が財政を圧迫しております。

更に、住民の生活環境基準の確保からの道路の改良・新設につきましては、交付金の対象事業は道路構造令の基準を満たすことを要件していることから、地域の実状を超えて高品位の適合仕様道路を設

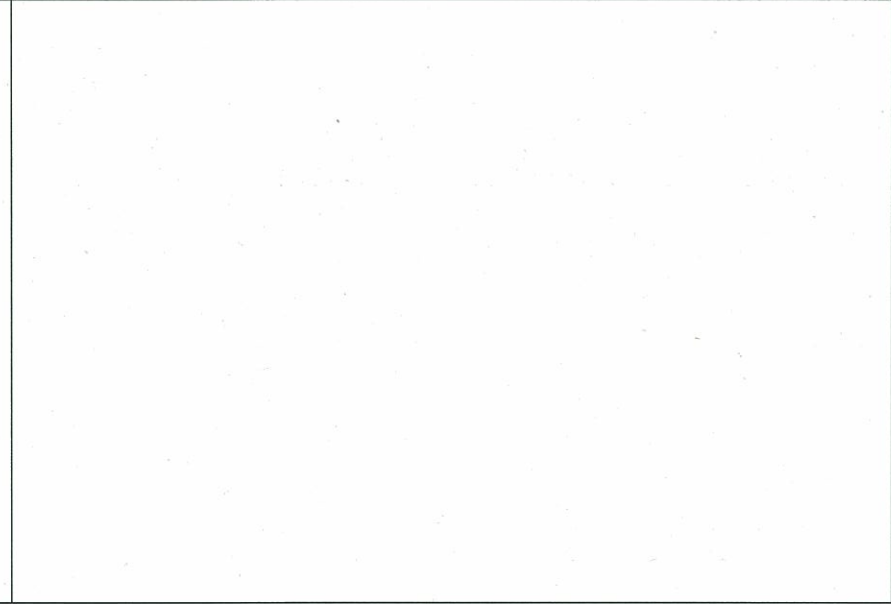
○課題

地域の活性化と若者の定住、高次医療サービスの充実と産業振興の促進から、自動車関連企業の立地が進む当地域と自動車生産企業（ダイハツ）が立地し県北経済の中心地である中津市とを結ぶ道路整備はもとより、地域高規格道路の整備により高速自動車道へアクセスするネットワークの構築等、総合的な交通体系の早急な整備が課題となっています。

また、市道・農道等の維持管理については、その大部分を市費にてまかなうことから大きな財政負担となっており、全般的な公共土木施設ストックの維持管理についても同様の課題となっております。

更に、道路構造令によらず、地域の実状に対応した経費の削減できる改良・新設仕様の道路事業については、交付金制度の対象とならないことが課題となっております。

置することとなり、設置工事が大きな負担となっています。	
------------------------------------	--



②－２ 地域の目指すべき将来像

大分県豊後高田市

地域の自立と活力の強化として、「宇佐国見高規格道路」の早期実現が不可欠であります。

この、高規格道路は、平成１０年６月に地域高規格道路・整備候補路線として指定されたものの、現在に至るまで計画路線への格上げがされていないのが現状であります。

この道路は、高次医療サービスの充実、県北主要都市との行政・文化交流はもとより、地域の産業・経済・観光の振興を実現し、特に自動車産業においては、東九州自動車道との接続により他地域との物流の高速ネットワーク化を確立するものであります。

また、宇佐国見道路より海路を介して、九州と中国地方を結ぶ本州への第２の物流ルートが整備され、中国地方との経済・文化・人的交流の促進は、広く西瀬戸経済圏の形成を可能とするものであります。

地方の小都市である、豊後高田市は「宇佐国見高規格道路」の早期実現に大きな期待を持ち、地域の将来を託すものであります。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

大分県豊後高田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・地域活力の向上	① 宇佐国見高規格道路（宇佐 I C ～国東市竹田津港）の現道活用による早期実現 ② 県道中津高田線の 4 車線化	① 東九州高速自動車道への接続による高速交通体系の確立から、物流ルートを活用による地域の産業経済の発展・観光資源の活用・高次医療サービスの実現と国東市竹田津港から周防灘を介した中国地方・西瀬戸圏との経済分化交流事業の推進を図る。 ② 県北地域の主要都市である中津市との広域行政化を展望し、中津－高田間の直結バイパス化と地域高規格道路の併合整備を行うことで、行政・文化交流及び物流推進による地域発展・活性化と合わせ、中津市のダイハツ九州の関連企業の大分北部中核工業団地への誘致促進により、産業の振興を図る。	